

# さし、議会だより



青森県議会〔公明・県政会〕によるトド被害調査：磯谷漁民センター(関連記事P6)

## 3 月定例会

**仏ヶ浦港湾建設事業費 66%減** …… 2ページ

**医療センター組織どうなる?** …… 6ページ

**議員定数120人を支持** …… 8ページ

No.125

# 島新会



景勝地：仏ヶ浦

## 仏ヶ浦港湾建設事業費

# 昨年より66%減少

島野委員

仏ヶ浦港湾建設事業が対前年度比六十六%減となっているが、減額になった理由は何か。

国の財政事情と

考えている

産業振興課長

国の財政事情によるものと考えている。

港湾整備の

運動展開すべき

島野委員

新幹線が八戸まで来て、ようやく当村の観光も観光産業としての位置付けが明確になりつつある段階で、事業費が大幅に減額されることには納得できない。

観光は一次産業に次ぐ佐井村の重要な産業であり、仏ヶ浦港湾の整備に熱意を持って運動を展開すべきである。

港湾整備運動に

努力する

村長

仏ヶ浦港湾の重要性は大きいものがあり、減額になった要因を確かめ、仏ヶ浦港湾の整備運動に努める。

## 矢越上道線 道路改良に期待



整備が待たれる矢越上道線

川畑委員

矢越上道線道路改良の設計予算が計上されているが、総合的な事業にかかわる経費は、現在の財政では相当厳しいということだが、今の機会を捉えてやらないと、今後は手を付けることが無理と思われるので、設計の見通しがたった時点で決断できないか。

要望満たすため

検討する

村長

国道につなぐ接点部分で、むつ整備事務所から良い返事がもらえなかった。地元要望を満たすため、

## 鳥インフルエンザ 対策は？

千葉委員

当村での鳥インフルエンザの対応は、

実態調査し

消毒している

産業振興課長

各農家の実態を調査し、消毒液を配布し、個々に消毒を行っている。

## 重点要望は何？



矢越～磯谷間道路改良工事

**竹内委員**  
平成十六年度は、佐井村として青森県に対し、重点要望事項は何を要望しているのか。

### 6項目を要望

**総務課長**

- ① 国道三三八号矢越～磯谷間の道路改良
- ② 長後地区バイパス化
- ③ 県道東葉研・佐井線の整備促進
- ④ 福浦川目線過疎代行工事の整備促進
- ⑤ 仏ヶ浦エレベーター構想
- ⑥ サル、カモシカ、クマの被害対策

**佐井バイパス**  
入っていないのか

**竹内委員**

重点要望事項に佐井バイパスは入っていないのか。

**関係機関に**

お願いしている

**村長**

過去に、途中で重点要望事項から外れているが、関係機関に口頭でお願いしている。

**公立保育所**

## 国庫補助金が廃止

**島野委員**

公立保育所に対する国庫補助金が廃止されているが、代わる財源は何を充当するのか。

**一般財源を充当**

**総務課長**

県の地方財政計画の説明の中で、一般財源を充当するよう指導を受けているが、若干交付税に算定されるようである。

**保育料**

改定あるのか

**島野委員**

国庫補助金の減額により、保育料の改定を考えているのか。

考えていない

**健康福祉課長**

保育料の改定は、考えていない。

**特別養護老人ホーム**

## 受入施設と交渉すべき

**島野委員**

特別養護老人ホーム、グループホームの整備は、十六年度中に計画を策定されるようである。

公設民営化で運営されるならば、民営化の受入施設と交渉に入るべきである。

検討に入っている

**健康福祉課長**

開設となれば資格関係が出てくるので、早い段階で方向を出したいということで、現在、郡内施設の担当者と検討に入っている。

## ゲートボールコート活用どうなる？

**工藤委員**

農業センター敷地内にゲートボールコートが整備されるが、現在の山村広場のゲートボールコートの活用はどうなるのか。

**現有のコート**

そのまま残す

**村長**

現有の二面のコートはそのまま残し、新しく一面、正規の寸法で整備する。また、山村広場を子供たちに利用させるため、遊具、ベンチなども配置する。



新しいゲートボールコートが整備される：山村広場

## 磯谷漁港の事業内容は？



完成間近な磯谷漁港

**福田委員**  
地域水産物供給基盤整備事業、磯谷漁港の平成十六年度の事業内容は何か。

**西防波堤の嵩上げ**

**産業振興課長**  
西防波堤二十五メートルの嵩上げなどである。

**内港が未整備**

**福田委員**  
内港が未整備である。

**漁港漁場整備事務所に相談している**

**産業振興課長**  
漁港漁場整備事務所に相談しているが、回答がまだ来ていない。

## 自主財源の創出 検討したか

**坂井委員**

厳しい村財政事情の中で、予算編成にあたって、自主財源の創出について検討した経緯はあるか。

**自主財源の見直し  
行なわない**

**総務課長**

手数料などは以前見直しをしており、今回は自主財源の見直しは行っていない。

自主財源の確保を図るため、事務事業の見直しを行ない、できる限りの節減に努める。

**検討委員会  
作る考えは？**

**坂井委員**

自立できる自治、生き延びられる自治体を目指すには、新たな自主財源の創出が必要である。

また、八市町村合併にあっても、各自治体も財政状況は非常に厳しい。自主財源の創出を検討す

る検討委員会を作る考えはないか。

**公共料金改定  
今後考えたい**

**村長**

佐井村は、他市町村と比較して手数料などを含む公共料金は一番低いランクにある。

自主財源の創出は重要と考えており、公共料金の値上げなど、今後考えたい。

## 地域情報ネットワーク 協議内容示せ



電算室

**川畑委員**

地域情報ネットワークの整備は、市町村合併によりますます重要になると思われる。

合併法定協議会では、どのような協議がなされているのか。

**具体的協議に  
入っていない**

**村長**

合併法定協議会では、具体的な協議には入っていないが、事務のスピード化などにつながる問題なので、積極的に取り組む。

**地域情報ネットワークとは**

現在、合併を予定している8市町村の中において、むつ市を中心に情報ネットワークの構築をするもの。

ホームページやメールにより行政情報等を提供するとともに、インターネットから住民のニーズをコミュニケーションボードやアンケート機能及び行政相談機能により把握し、そのデータを利活用することを可能とする行政情報システムのほか、地域映像情報システム、学校間コミュニケーションシステム、防災情報システムを予定している。



建設が待たれる佐井消防分署

電源三法交付金

# 前倒しで行なう 事業とは

田中岩男委員  
平成十六年度、電源三法交付金を前倒しで行なう事業は何か。

## 地質調査を実施

総務課長  
消防センター建設に伴う地質調査を実施する考えはあるか。

## 交付額は

どの程度か

田中岩男委員  
三法交付金の交付額ほどの程度か。

## 総額で

18億3千6百万円

総務課長  
総額で、十八億三千六百万円が交付される見込みで

ある。

## 核燃サイクル補助金 事業内容とは

田中岩男委員  
核燃サイクル事業の補助金六千五百万円が交付される見込みだが、事業内容を説明して欲しい。

## 村営住宅

## 外壁塗装工事など

総務課長

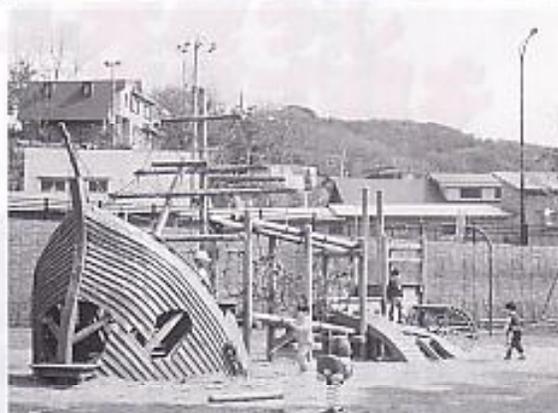
十六年度は村営住宅の外壁塗装工事、長後地区生活改善センター改修工事、ゲートボール場の建設を予定している。

十七年度は佐井村漁協共産地区荷捌き施設の整備。

十八年度は消防施設整備と第一分団の機械器具格納庫の整備。

十九年、二十年度は佐井小学校スクールバスの整備と手づくりマートの整備を計画している。

## 新しい手法で滞納整理を



この子供たちも将来は高校・大学へ

福田委員

奨学資金の貸付け収入、一千四百万円見積っているが、滞納分も含まれているのか。

## 滞納分も含まれる

教育委員会総務課長

貸付け収入では、百四十万円程度の滞納分も含まれる。

## 差押えなど

## 講じたか

福田委員

滞納整理の手順、体制及び保証人に対する対応、差押えなどの手段は講じたか。

か。

## いろいろな手段で 滞納整理に努める

教育委員会総務課長

奨学生本人に対し、電話及び文書で督促し、更に保護者に直接納入方を依頼している。

保証人には、直接お会いすることもあるし、電話でお願いしているが、なかなか思うように進んでいない。

残る手段は法的手段となるが、できる限りいろいろな手段を使い、滞納整理に努めたい。

## 平成17年度 予算編成 どうなる

千葉委員

平成十七年度の予算編成にあたっての考え方を説明して欲しい。

## 新たな

## 予算編成方針で

総務課長

合併した場合、十七年度の予算は新たな予算編成方針に則り、行財政運営がされるものと考えている。

# 医療センター組織 どうなる？



佐井診療所

田中正行議員

むつ市を含む市町村合併の場合、現在の医療センター組織は解散し、新しい市立の病院と診療所に衣替えになると思われるがどうなるのか。

**合併小委員会で  
検討される**

村長

合併後の医療センター組織は重要な問題であり、合併小委員会で検討されることになっているが、まだ正式な議題となっていない。医療センター機能を再構築して、圏域全体で地域医

療を支えていくための体制づくりを進めることとして

いるので、これまでの経緯、更には合併した場合のあり方を含めて検討されるものと考えている。

**累積欠損金  
合併まで解消か**

田中正行議員

佐井診療所で抱えている累積欠損金は、そのまま新市に引き継ぐことになるのか、それとも合併までに欠損金を全て解消しなければならぬのか。

**財産も負債も  
新市に引き継ぐ**

村長

基本的に財産、負債とも新市に引き継ぐものと考えている。

**人事交流  
進める必要がある**

田中正行議員

職場の活性化を図るため、医師を含む職員の人事交流を進める必要があると思う。

必要だと

考えている

村長

医療センターの解散、継続いずれの場合でも、同じ市の職員である以上は人事交流の必要があると考えている。

**経費節減に  
努力している**

田中正行議員

佐井診療所の患者数の動向は、昨年当初から比べると徐々に増加し、所長はじめ職員の方々の経営の意識が高まり、経費の節減に努力していると伺っている。

**様々な検討  
重ねている**

村長

松尾先生、川島先生には常に村民のため地域医療に励まれていることに感謝している。

佐井診療所では経営改善のため、医療品の取扱いも含め、様々な検討を重ねている。

## トド駆除 どう対策講じるか



青森県議会議員によるトド被害状況調査

福田議員

今年は、トドの被害が種々に多い。駆除対策を伺いたい。

**威嚇など実施した**

産業振興課長

一月二十八日に青森県、佐井村、麻野沢村、佐井、麻野沢両漁協による青森県トド被害防止対策協議会を設置した。

その協議会の中で、トドの被害状況の把握、被害対策として県の漁業取締船でパトロール、威嚇などを実施した。  
また、黄色い旗を網に付ける対策を現在講じている。

# 海岸に抜ける道路必要



しおさいロード

**竹内議員**  
佐井漁港臨港道路と古佐井地区を結ぶ連絡道路として、ガードパイプを取り外して土盛りをすれば、海岸に抜けることができると思いが、法的、予算的に可能か。

**県単独事業での実施要望する**

**村長**  
臨港道路と古佐井地区の接続は、地区住民の利便、更には防災上重要だと考えている。  
国の会計検査が終了次第、県の単独事業で実施するよう要望する。

**小公園つくり 環境整備図れ**

**竹内議員**  
臨港道路と民家の間の空地を利用し、小公園をつくって環境整備を行なう考えはないか。

**プランター設置し 環境美化に努める**

**村長**  
しおさいロードが開通して以来、交通体形も変わり、利用が増加している。景観には特段の配慮をすべきと考えている。  
町内会、婦人会などに呼びかけ、プランターの設置など環境美化に努める。

# 工夫凝らし表彰式典を



佐井同郷会（東京村人会）

**山口議員**

村では条例の定めるところにより、各功労者に対して表彰することができるとなっているが、来年の一月に合併になるとすれば十六年度が佐井村として最後の表彰式典となる。どのような形で、どの程度の範囲で、いつ実施するのか。

**幅広く選考する**

**村長**  
功労者にとらわれず幅広く選考し、村のため尽くした

**村人会の役員も表彰すべき**

**山口議員**

村外の地域で活動している東京村人会、青森佐井村人会、函館佐井村人会の役員の方々も表彰すべきではないか。

**役員の苦勞に感謝状差し上げたい**

**村長**

東京、青森、函館各佐井村人会の役員の方々の苦勞に対しても感謝状を差し上げたいと考えている。

**イベント**

**企画できないか**

**山口議員**

東京村人会の表彰と合せてイベントを企画できないか。

**本村以外からの派遣検討する**

**村長**

これまで神楽とか祭りばやしを派遣したが、本村以外からも村人会に参加しているの、これらを考慮して検討する。

# 議員定数120人を支持



千葉議員



市町村合併調査研究特別委員会

千葉議員

市町村合併について、今、むつ下北地域合併協議会の場で議員定数、議員報酬が検討されている。

議員定数は、佐井村議会に在任特例を適用し、百二十人を支持する立場を取っている。

その理由は、新市がスタートする平成十七年一月に議員定数を三十七人とした場合、旧むつ市から二十二人、他の七町村から十五人の構成内訳となる。佐井村においては議員一人の枠が与えられる。中心部が栄え、周辺部が

寂れるとされる合併において、中心部の議員二十二

人、周辺部十五人での議会運営では、政治家の良心は信じるものの、中心部の議員に周辺部の地域事情の理解を得ることは難しく、地域格差の是正は無く、ますますその格差が広がること懸念される。

むつ周辺部の意向を十分反映させた行政体制を構築するためにも、旧市町村の議員百二十人を在任させ、話し合うことが必要である。そのためにも、引継ぎのための三年程度の猶予期間が必要と考えている。

議員定数120名  
理解を深める

村長  
佐井村の議題や問題点を合併後の新市建設計画に計画どおり進捗させるためには、チェック機関である議会が重要な役割を担っていることから、在任特例を適用し、議員定数は平成十九年十月まで百二十名の理解を深めていく考えである。

議員報酬

現状で確認

千葉議員

議員報酬について、一部新聞紙上で莫大な数字が載っていたが、佐井村の場合、現状の報酬額で確認されている。

合併協議会で

検討される

村長

議員報酬額も、合併協議会で検討されるものと考えている。

説明会の開催は？

千葉議員

議員定数、報酬の問題については村民の関心も大きいことから、説明会を開催する考えはないか。

説明会の時期

検討する

村長

議員定数の問題、新市の名称の問題なども継続して協議しているが、まだ結論が出ていない。

説明会は、いつ頃が良いのか検討する。

## サル捕獲の方法は



日光中禅寺湖売店のサル被害を調査

千葉議員

特定鳥獣保護管理計画で、サルの捕獲が今年四月から三年間にわたって実行される。

サル捕獲までのプロセスと、いつ、誰がどのような組織を形成して捕獲に至るのか。また、農作物の被害が発生した場合の対応はどうなるのか。

危害加えたサル

捕獲し処置

村長

人家に進入したり、人に

危害を加えたサルは、一旦捕獲して檻に入れる。

捕獲は基本的に役場職員と巡視員で行ない、県に状況を説明する。

捕獲後の処置は施設への収容や安楽死などの処分を検討し、県の許可を得ることになる。

農作物の被害補償は、下北のサルを天然記念物として指定している国の補償が前提となるが、農業者の耕作意欲をなくさないためにも県、国に対し農作物の補償を含めた対策を求める。

# 佐井バイパス計画 陳情結果は？



佐井バイパス説明会

統評価を実施し、残念ながら佐井バイパス事業は保留になった。  
しかし、財政事情などの環境が整えば、事業の再開は可能とのことである。

**説明会  
開催は**

**竹内議員**  
佐井バイパス計画については、知事や関係方面に陳情されていると思うが、その結果、どうなっているのか。

**県の継続評価で  
残念ながら保留**

**村長**

県では公共事業を効率的、効果的に整備するため、平成十五年度に公共事業の継

**竹内議員**  
地権者などに対する説明会は開催するのか。

**アルサスで開催**

**村長**

むつ県土整備事務所と協議の結果、三月二十二日にアルサスで開催する。



竹内議員

## 交通危険箇所 早急に対処せよ



アルサス前交差点

**竹内議員**

アルサス前の交差点右側に建っているキャッシュコーナーにより、通行車両の確認が遅れ、事故が増加している。

早急に対処すべきではないか。

**4月中旬には**

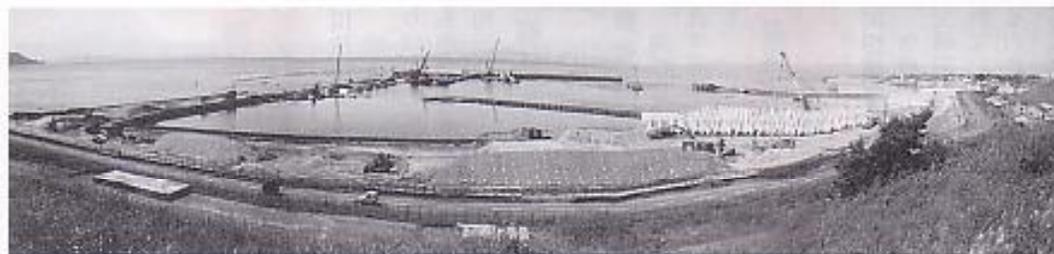
**移転完了**

**村長**

青森銀行に対し、移転するよう要望し、四月中旬まで移転を完了すると報告を受けている。

**原発関係者宿舎**

## 計画は進んでいるか



大間原子力発電所準備工事

**竹内議員**

大間原発を誘致する段階で、原発関連業者や社員の宿舎を佐井村にも一部建設するよう要望している。

本格的着工にあたり、この計画は進んでいるのか。

**具体的な協議**

**これから進める**

**村長**

大間原子力発電所に係る建設事業者宿舎は、電源開発と平成十一年四月十五日付けで締結した「佐井村と大間原子力発電所との共存共栄に係る付帯覚書」の中で、最大二百人規模の宿舎を村内に設置することが約束されている。

建設場所などの具体的な協議は、今後、電源開発から申し入れがあり次第進める。

# 学校統廃合の諸問題を問う



統廃合が進められている磯谷小中学校

たことは、反省している。

**住民の理解  
得たとの認識か**

川畑議員

住民の皆さんは不信任を  
持っている。

教育委員会では平成十八  
年四月に統合するというこ  
とについて、住民の理解を  
得たと考えて良いのか。

**理解得たと  
考えている**

教育長

各地区のPTAの方には  
温度差はあるが、平成十八  
年四月一日スタートについ  
ては、理解を得たものと考  
えている。

**検討委員会  
正副委員長決定か**

川畑委員

三月八日に第一回目の検  
討委員会が開催されている  
が、委員長、副委員長は決  
定されたか。

**決定に至らず**

教育長

検討委員会の際、学校統  
廃合を議会の議決を得た上  
で話し合いをすべきとの意見  
が出て、正副委員長の決定  
には至らなかった。

**村長部局に上げ  
議会の議決となる**

川畑委員

議会の議決が先かどうか  
ということではなく、統合  
の環境整備が整った段階で  
村長部局に上げ、議会の議  
決となるのではないのか。

**全くそのとおり**

教育長

全く議員の言うとおりで  
ある。  
委員会として、統合につ  
いては強力に進めたい。

**廃校は  
取り壊すのか**

川畑議員

統合した後の廃校は、取  
り壊しになるのか、それと  
も地域で希望があれば、活  
用のできるのか。

**解体を  
基本としている**

教育長

廃校になった場合は、解  
体することを基本としてい  
る。

**道路改良  
いつ頃完了か**

川畑議員

学校統廃と併せて磯谷、  
矢越間の道路改良が行なわ  
れているが、いつ頃完了す  
るのか。

**平成十七年度  
完了の予定**

村長

国道三三八号願掛工区の  
道路改良工事は、平成十七

年度完了する予定である  
が、一ヶ所だけ事業採択が  
遅れている。

**通学バスの対応は**

川畑議員

統合後の通学バスの対応  
はどうなっているのか。

**スクールバス  
2台で運行する**

教育委員会総務課長  
中学校にもスクールバス  
を配置し、佐井小学校のス  
クールバスと二台で運行す  
る。

**学校林どうなるか**

川畑議員

廃校になった場合、学校  
林はどうなるのか。

**地区に  
帰属させたい**

教育長

廃校になった地区に、学  
校林を帰属させることがで  
きるよう条例改正する。

**川畑議員**  
学校統廃は、平成十八年  
四月一日をめどに進めてい  
ることだが、現在に  
おいても時期に変更はない  
のか。

**学校統廃時期  
変更なし**

教育長

学校統廃の時期は、平成  
十八年四月一日に変更はな  
い。

**住民への説明  
遅れている**

川畑議員

統合の条件として住民の  
理解を得ることになってい  
るが、説明が遅れているの  
ではないか。

**反省している**

教育長

住民に対する説明が遅れ

## ケビンハウス冬季営業を



ケビンハウス

### 千葉議員

自主財源の創出と通年観光を考える観点から、ケビンハウスの冬季営業を提案したが、次の点について、どのように考えているか。  
一、条例改正し、利用者の増加を図るべきである。  
二、冬季営業について、集客のための工夫を考えているか。  
三、運営の委託を考えているか。

### 料金の値下げ 含め検討する

#### 産業振興課長

冬季間の利用を図るため、料金の値下げを含め九月議会をめぐりに検討する。集客を図るため管理委託業者、観光協会、サークルグループ、NPOなどの実施企画によるイベント会場として、ケビンハウス、森林体験館などの施設を提供し、使用料の減免も考慮して利用の増に努める。

### 総務文教・産業建設合同常任委員会報告

# 資金貸付けやむを得ない

総務文教・産業建設合同常任委員会では、去る十二月二十三日、佐井村漁業協同組合が平成十六年四月までに青森県信用漁業協同組合連合会に対し、信用事業の譲渡をするために必要な資金を佐井村が貸し付けするため、電源開発株式会社から水産振興基金活用について説明を受け、その結果を報告しました。



公認会計士の調査報告をする佐井村漁業協同組合役員

電源開発株式会社では、水産振興基金活用の考え方について、基本的には運用益金を水産振興事業に活用するのが主旨であり、赤字補填などは当然ながら対象外になる。

しかしながら、村の漁業協同組合の借入金に対する債務保証の決議など、漁業協同組合に対する真摯な姿勢を重く受け止め、会社として漁業協同組合の窮状に鑑み、様々な検討をした結果、基金条例第三条の運用の一環として、村の責任において漁業協同組合に貸付けを行なうことについては認めることにしたと説明がありました。

これを受けて本合同常任委員会として、基幹産業である漁業の動向が地域経済に大きく影響を与えること。また、村の存亡に係る重要事項であることから、漁業協同組合に対する信用事業譲渡に必要な資金の貸

付けについてやむを得ないものと考えました。

漁業協同組合におかれましては、経営不振に陥った原因を調査し、公認会計士などの外部監査を定期的に導入し、チェック体制の強化に努めるとともに、役員並びに組合員は丸となり、今日までの度重なる協議内容や意見、要望などを謙虚に受け止め、再生に向けて経営改善計画の達成に取り組んでいただきたい。

行政におかれましては、組合員に関かれ、そして透明性を持った組合経営がなされるよう、今後とも更なるご指導、ご助言をお願い申し上げます。

# 産業建設常任委員会報告



観光客を驚嘆させる「仏ヶ浦」

## 自主財源の創出将来的に必要

産業建設常任委員会は、平成十五年第四回定例会の本会議において付託された下北半島国定公園仏ヶ浦「管理協力金」徴収条例制定について、二月三日、各関係団体等から広く意見を聴取するため、懇談会を開催しました。

その結果、各関係団体等の意見を集約すると、

①仏ヶ浦のイメージダウンが心配。

②観光客が減少する。

③旅行会社並びに観光客の理解が得られるか心配。

との多数の反対意見と、今後の維持管理を考えた場合、必要であるとの少数意見がありました。

旅行会社をはじめ観光業者は、長引く経済不況の中で厳しい経営を強いられており、各関係団体などの意向を尊重するなら、時期尚早であると判断するものがあります。

しかしながら、条例制定の主旨であります観光施設などの維持管理には、自主

財源の創出が将来的には必要であることについては、各関係団体なども概ね理解を示していることから、今後は行政と観光協会がタイアップし、観光客へのアンケートなどを実施すべきであります。

また、下北半島は恐山と仏ヶ浦が観光の中心になっており、新市発足後においても何ら変わらないものとして予想されることから、下北半島国定公園仏ヶ浦「管理協力金」条例制定について提言するよう努めることを要望します。

なお、その結果、平成十五年十二月定例会に提案された定例第八号下北半島国定公園仏ヶ浦「管理協力金」徴収条例制定については、平成十六年三月定例会において、産業建設常任委員長より「不採択」の委員長報告がなされました。